

プログラム

第1日目 9月16日(金)

講演会場 金沢市文化ホール 会議棟 2F 大集会室

8:50~9:00 開会式

9:00~9:40 【一般演題1】シェーグレン症候群 基礎/臨床研究

座長：石丸 直澄（徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔分子病態学分野）

- O1-1 一次性SSにおけるCD8+Tregと臨床像の関連解析、in vitroでのCD8+Treg分化誘導の検討
東光 裕史（筑波大学 医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学）
- O1-2 シェーグレン症候群患者末梢血単球でのBAFF受容体とNav1.7発現の関連性と細胞機能への寄与に関する検討
吉本 桂子（慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科）
- O1-3 シェーグレン症候群唾液腺におけるToll-like receptor 7誘導性Ro52抗原提示活性化の解析
西畑 伸哉（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野）
- O1-4 シェーグレン症候群疾患モデルマウスにおけるB細胞活性化機構の解析
田中ゆり子（東邦大学 医学部 免疫学講座）

9:45~10:25 【一般演題2】シェーグレン症候群 臨床研究①

座長：吉藤 元（京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学）

- O2-1 唾液腺シンチグラフィと唾液腺エコーの比較とSSにおける有用性の検討
西山 進（倉敷成人病センター リウマチ膠原病センター）
- O2-2 小児・成人シェーグレン症候群患者における唾液腺MRIとUS画像所見の比較、検討
高木 幸則（長崎大学大学院 口腔診断・情報科学分野）
- O2-3 シェーグレン症候群における唾液腺超音波でみられる腺病変と臨床的因子の関連解析
清水 俊匡（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 リウマチ・膠原病内科学分野）
- O2-4 シェーグレン症候群における高IgG血症の腺外病変発症リスクに関する検討
竹治 明梨（金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科）

10:30~11:10 【一般演題3】シェーグレン症候群 臨床研究②

座長：小川 法良（浜松医科大学 免疫リウマチ内科）

- O3-1 シェーグレン症候群におけるESSDAIと亜鉛欠乏症の関連について
秋谷 久美子（日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野）

- O3-2 原発性シェーグレン症候群における骨関節症状の種類と出現頻度
佐川 昭 (佐川昭リウマチクリニック)
- O3-3 シェーグレン症候群のドライアイ患者の長期経過
篠崎 和美 (東京女子医科大学八千代医療センター)
- O3-4 Patient-reported onset を用いた早期発症シェーグレン症候群の臨床的特徴
小森 香 (高知大学 医学部 環境医学)

11:15~12:35 【シンポジウム 1】 シェーグレン症候群における最近の話題

座長：高橋 裕樹 (札幌医科大学 医学部 免疫・リウマチ内科学)
東 直人 (兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科)

- SY1-1 早期介入を見据えた、全年齢シェーグレン症候群レジストリを基盤とする、唾液次世代プロテオーム解析による病態解明の試み
井上祐三朗 (千葉大学大学院医学研究院 総合医科学)
- SY1-2 ドライアイ診断からシェーグレン症候群診断へ
横井 則彦 (京都府立医科大学 眼科)
- SY1-3 唾液腺組織を用いたシェーグレン症候群の病態解析
川上 純 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野)
- SY1-4 シェーグレン症候群における自然免疫応答の役割
森山 雅文 (九州大学 大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野)

ランチョンセミナー会場 金沢ニューグランドホテル 5F 銀扇

12:50~13:50 【ランチョンセミナー I】

座長：川野 充弘 (金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科)

関節リウマチ治療における JAK 阻害薬の役割

橋本 求 (大阪公立大学大学院医学研究科膠原病内科学)

共催：日本イーライリリー株式会社

講演会場 金沢市文化ホール 会議棟 2F 大集会室

14:05~14:25 【総会】

14:25~14:35 【奨励賞・功労賞 表彰】

プログラム

14:35～15:05

【学会賞受賞講演】

座長：高橋 裕樹（日本シェーグレン症候群学会 理事長）

15:10～16:10

【特別企画】北陸から発信するシェーグレン症候群・IgG4 関連疾患

座長：正木 康史（金沢医科大学 血液免疫内科学）

中村 英樹（日本大学医学部 内科学系血液膠原病内科学分野）

特別企画 -1 IgG4 関連疾患の画像診断と金沢大学 / 北陸での取り組み
井上 大（金沢大学附属病院 放射線科）

特別企画 -2 新たに提唱された IgM 陽性形質細胞を伴った尿細管間質性腎炎とシェーグレン症候群の関係性
高橋 直生（福井大学 医学系部門 腎臓病態内科学分野）

特別企画 -3 IgG4 関連疾患・シェーグレン症候群の眼病変とその治療
高比良雅之（金沢大学医薬保健研究域医学系 眼科学）

16:15～17:25

【シンポジウム 2】二次性シェーグレン症候群

座長：松井 聖（兵庫医科大学医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座）

SY2-1 関節リウマチにおける乾燥症状～二次性シェーグレン症候群を見逃さないために～
山田 和徳（金沢医科大学 血液免疫内科学）

SY2-2 二次性シェーグレン症候群の臨床的特徴
ー全身性強皮症合併例・セントロメアシェーグレンの診断と全身性エリテマトーデス合併例を中心にー
鈴木 康倫（福井赤十字病院 腎臓・泌尿器科 / 膠原病内科）

SY2-3 Difficult to treat RA (D2T RA) の観点からみたシェーグレン症候群合併関節リウマチの臨床的特徴
と治療 ～アバタセプトのポテンシャルを再考する～
坪井 洋人（筑波大学医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

17:30～18:30

【イブニングセミナー】

座長：山田 和徳（金沢医科大学 血液免疫内科学）

関節リウマチにおける Whole-Patient Care を考える～ TNF 阻害薬の意義～

岸本 暢将（杏林大学医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科学）

共催：田辺三菱製薬株式会社